

# 第10回情報公開委員会議事概要

平成26年 7月 7日  
独立行政法人日本原子力研究開発機構

1. 日 時 平成26年 6月20日(金) 13:30～14:45
2. 場 所 TKP東京駅前カンファレンスセンター 4階  
カンファレンスルーム4A  
(〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-5-20 石塚八重洲ビル)
3. 出席者 委員長 碧海 西葵 消費生活アドバイザー  
委員長代理 鈴木 秀美 大阪大学大学院 高等司法研究科 教授  
委 員 浅田 正彦 京都大学公共政策大学院 教授  
委 員 市村 元 関西大学 社会学部 客員教授  
委 員 高後 元彦 弁護士  
委 員 山本 康典 日本原子力文化財団 フェロー

## 4. 議 題

- (1) 第9回情報公開委員会議事概要について
- (2) 平成25年度開示請求対応状況について
- (3) 情報公開委員会検討部会の開催状況について
- (4) その他
  - ・原子力機構改革について
  - ・福島第一原子力発電所事故後の取り組みについて

## 5. 配付資料

- 情公10-1 第9回情報公開委員会議事概要
- 情公10-2 平成25年度の開示請求対応状況について
- 情公10-3 情報公開委員会検討部会の開催状況について
- 情公10-4 原子力機構改革について
- 情公10-5 福島第一原子力発電所事故後の取り組みについて

## 6. 議事要旨

- (1) 第9回情報公開委員会議事概要について  
事務局から、情公10-1に基づき、第9回情報公開委員会議事概要について報告があり、確認がなされた。

(2) 平成25年度の開示請求対応状況について

事務局から、情公10-2に基づき、平成25年度の開示請求対応状況について報告があり、確認がなされた。

(3) 情報公開委員会検討部会の開催状況について

事務局から、情公10-3に基づき、情報公開委員会検討部会の開催状況について報告があり、確認がなされた。

(4) その他

【原子力機構改革について】

原子力機構改革室から、情公10-4に基づき、原子力機構改革について報告があった。

委員から以下の意見があった。

(委員) 原子力機構は「もんじゅ」の事故等を受けて、国民からの信頼を失っている状態。透明性の確保ができていないところが非常に大きな問題である。よって、改革の柱として透明性の確保が重要であり、「もんじゅ」の点検漏れ等に関しても、報告が遅れた理由などを丁寧に説明するべき。そうした姿勢が国民の信頼につながるものと考ええる。また、国会や政府の主要な委員会などへの情報発信もより一層積極的に行うべきではないか。

(機構) 透明性の確保については、いろいろと努力をしているところではあるが、情報が思うように伝わっていないと認識しており、情報を有効的に伝える方法を模索している。

(委員) 改革には職員全般の意識がとても重要であり、職員へのボトムアップ活動などを大事にしてほしい。

(機構) 役員と職員との意見交換、提案箱を設置するなどの方法で下からの意見が上まで届くようにしている。上からの施策と下からの意見の双方を取り入れながら改革を進めているところである。

【福島第一原子力発電所事故後の取り組みについて】

福島研究開発部門から、情公10-5に基づき、福島第一原子力発電所事故後の取り組みについて報告があった。

以上